

# 令和5年度 第5回総合教育会議 説明資料

# 滋賀の県立高等学校魅力化プラン概要

## 魅力化の方向性の観点

### 地域連携重点

・地域や社会の将来を担う人材の育成を視野に入れ、地域を教育資源とした体験的な学びや、地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに重点的に取り組む。

- ☆ 地域や社会の将来を担う人材育成も視野に入れ、地域の課題解決に向けた学習をする高校
- ☆ フィールドワークを通じ、地域の魅力や課題を学習する学校設定科目のある高校
- ☆ 工業や商業、農業、家庭等の専門学科の視点で地域活性を考える高校
- ☆ スポーツや観光等のレジャーの視点で地域活性を考える高校

### 多様な学び重点

・各校の実情に応じた少人数学級の工夫や、学び直し、日本語学習などのニーズに応える教育活動の展開、学校独自の特徴的な学びの提供など、生徒の様々な学習ニーズに対応した多様な学びに重点的に取り組む。

- ☆ スポーツや芸術等、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多くの選択科目がある高校
- ☆ 外部人材を活用し、幅広い視点を育てる高校
- ☆ 地元企業でのインターンシップを取り入れた高校
- ☆ 時間割の工夫などにより基本の定着に重点を置いた授業をする高校
- ☆ 個々の生徒に応じた少人数の習熟度別授業を取り入れた高校
- ☆ 総合単位制普通科高校や通信制高校
- ☆ ICTを活用したオンライン授業、他校と連携した遠隔授業
- ☆ ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル習得に係る支援を行う高校
- ☆ 生徒と保護者の生活状況などに配慮しながら日本語支援に取り組む高校

オンリーワンの魅力ある高校  
「夢・想い」をかなえる場所は  
ここにある

### 高大連携重点

・生徒の能力・意欲に応じた教育の実現を目指して、高校生が県内外の大学、企業、研究機関等の教育研究に触れることができる取組を展開するなど、高大連携に重点的に取り組む。

- ☆ 大学や研究機関、海外の高校等と連携・協働して興味ある学問分野の研究ができる高校
- ☆ 文部科学省の事業や県事業の指定を受けて他校にない特色ある学びができる高校
- ☆ 理科や数学の高度な学びができる高校
- ☆ 文系・理系にとらわれず幅広く学べる高校（STEAM教育の取組）
- ☆ データサイエンスや環境エネルギーの基礎が学べる高校
- ☆ 琵琶湖を中心とした自然環境や生態系について学べる高校
- ☆ 教育に関する探究学習に取り組める高校

### 産業教育重点

・職業観や勤労観の育成、産業技術の習得、経済的自立の促進を目的に、農業、工業、商業等に関する実践的、体験的な学習活動を展開する産業教育の推進に重点的に取り組む。

- ☆ 職業上の専門性の基礎を学べる高校
- ☆ 企業と連携しビジネスモデルを開発する学びができる高校（起業家教育）
- ☆ 企業が持つ産業技術や大学等の知識・設備等を生かした学びができる高校

### 生活・スポーツ・芸術系重点

・家庭や保育、福祉などに関する体験的な学習活動により、家庭生活の充実向上を図る能力を育成し、また、レベルの高いスポーツ・芸術活動により、生徒の能力を最大限に引き出す教育の展開を行うなど、県内の拠点となる生活・スポーツ・芸術活動に重点的に取り組む。

- ☆ 体育や音楽等の学科やコースを設置して専門的に学ぶ高校
- ☆ 魅力ある部活動のある高校
- ☆ 保育や福祉の学びができる高校

◆他校との連携による活力の創出

※「☆」は各重点における魅力化の方向性の参考例

全ての県立高等学校の特色ある学び・魅力の発信

# 魅力化プランに基づいた魅力と特色ある取組

## 地域連携重点

### ■伊香高校【地域連携コーディネーターによる魅力化の取組】

☆令和4年度より地域連携コーディネーターを配置し、地域を教育資源とした学びの研究を進めている。

### ■安曇川高校【「防災カフェ」の取組】

☆3年生のロボティクス系列の課題研究で制作したロケットストーブを地域住民の方と一緒に仕上げ（組み立て）を行い、その完成したロケットストーブを使って、防災食の炊き出し体験を行った。その後、他系列の生徒も交えて非常食を試食し、防災に関するゲームを行った。生徒と地域住民との交流と、生徒自身のコミュニケーション能力の向上に繋がる取組となった。



ロケットストーブを使って防災食の炊き出し体験をしている様子



地域の方々と交流している様子

### ■水口高校【近隣小学校での授業サポートの取組】

☆体育コースの3年生は年間10回、国際文化コースの3年生は年間3回、近隣の甲賀市立綾野小学校を訪問し、授業の補助や支援を行っている。生徒たちは、小学生の学びの支援をすることで、他者への援助が自らの学びにつながっていることを実感している。



### ■日野高校【アントレプレナーシップ教育の取組】

☆キャリア教育の1つとして、アントレプレナーシップ教育に取り組み、駅舎の一角で「日野高カフェ」を営業している。地元企業と連携して商品開発をするなど、販売活動を通して新しい価値の創造に挑戦している。



# 魅力化プランに基づいた魅力と特色ある取組

## 高大連携重点

### ■虎姫高校【サマーセミナーの取組】

☆2年生全員が夏休みに県内外の大学等を訪れ、学問の最先端に触れるとともに、探究的な活動を行うことで、学問への興味関心や知見が広がり、自らの進路に対する意識も向上した。



県立大学（化学）  
プラスチック製品の特徴と性質～リサイクルを阻むものは何か？



金沢大学  
その決め方、ホントにいいの？～多数決について考える  
岐阜県立関高校とのジョイントワークショップを開講

### ■玉川高校【立命館大学理工学部との連携】

☆「高大連携」に関する協定を締結し、高大連携協定校プログラム（大学による講座、ガイダンス等）を受けている。  
このプログラムを受講完了した生徒は、高大連携特別推薦入学試験を受験し、理工学部への進学を実現している。この制度によって進学した生徒は、大学入学後も意欲的に学習に励んでいる。

### ■彦根東高校

#### 【次代を担う変革型グローバル・リーダー育成プログラム】

☆WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業のカリキュラム開発拠点校の指定を受け、令和5年3月に彦根東サイエンス国際フォーラムを開催した。持続可能な社会づくりをテーマに、インド、インドネシア、オーストラリアの連携校の代表生徒と、グローバルな視点で意見を出し合い学びを深める機会となった。



# 魅力化プランに基づいた魅力と特色ある取組

## 産業教育重点

### ■甲南・信楽高校【地域と連携した産業教育】

☆地産地消で地域を元気にしたいという思いから、地域の人々と連携して田んぼアートに挑戦した。令和4年度は、地元のSA・PAや道の駅で、甲南高校で飼育した若鶏・地域の土山茶・信楽高校の陶器皿を用いた「お茶カツ」や、甲南高校が商品化した土山のほうじ茶を使ったクッキーとパウンドケーキを販売した。



### ■瀬田工業高校【国スポ・障スポへの協力】

☆大津市政策調整部から依頼を受け、各科1つずつ合計3つのカウントダウンボードの製作を行っている。レーザー加工機や3Dプリンターなど工業科ならではの機器を使用し製作した。次年度、駅等の人通りの多いところに設置する予定。

機械科の生徒が製作した  
カウントダウンボード



### ■大津商業高校【事業所と共同した商品開発】

☆大津商業高校では、地元事業所と連携し、製菓、木工、織・刺繍の中から商品化を目指す取組を実施した。生徒たちは、オリジナルクッキーや巾着、積み木を共同で開発し、イベント販売を行った。

商品開発を通して、事業計画書の作成、コミュニケーション能力、プレゼン能力などを学んだ。



### ■彦根工業高校【産官学が連携した技術「人財」育成システム】

☆マイスター・ハイスクール事業の取組の一つとして、企業と連携した現地実習（デュアルシステム実習）で年間約20回にわたり製造・工程管理の研修など多岐に渡る実習を実施している。



# 魅力化プランに基づいた魅力と特色ある取組

## 多様な学び重点

### ■伊香・伊吹高校【ICTを活用した遠隔授業】

☆両校の生徒が混合で課題研究班を作り、オンラインで地域課題について議論し、解決策を発表した。生徒たちは、他校の生徒たちとの交流に少し緊張しながらも堂々とプレゼンし「場所が離れていても共に活動ができた」「うまくコミュニケーションがとれた」などの感想を寄せていた。



### ■八幡高校【県内唯一の看護の学び】

☆看護・医療・福祉の意義について学び、生き方や健康、命の尊厳等について考えることができる人材の育成を目指す。看護師をはじめとする各専門職の方による講義、バイタルサインの測定等の基礎看護実習、病院や介護施設等の見学、聖泉大学や藍野大学等との連携による実習等に取り組んでいる。



大学での看護実習の様子

### ■愛知高校【通級指導】

☆クラスの仲間とのコミュニケーションなど、対人関係に困難を示す人を対象に、週に1時間、放課後の7限目に実施している。

### ■信楽高校・大津清陵高校

【外国にルーツのある生徒や日本語指導を必要とする生徒に対する取組】

☆信楽高校と大津清陵高校（定）では、「日本語」の学校設定科目を設置している。また、大津清陵高校（定）では、京都外国語大学学生やJICA海外協力隊OBOG等を講師として、日本語の到達度別にマンツーマンに近い形で日本語指導を実施している。

## 生活・スポーツ・芸術系重点

### ■石山高校【びわ湖ホールでの音楽イベント】

☆小中学生等に音楽の楽しさや魅力を直接伝え体験してもらうことで、音楽の価値創造や将来のキャリアを考える機会の創出を図っている。



日時：R5.10/19（木）

場所：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

内容：・音楽科の合唱・合奏

・晴嵐小学校6年生と合同演奏

・吹奏楽部合奏

・びわ湖ホール声楽アンサンブルによる合唱

・石山高校生や卒業生によるヴァイオリン独奏

### ■草津東高校【専門的なスポーツ教育】

☆立命館大学スポーツ健康科学部と連携して、体育科の体力測定、コーチ学講義、栄養学講義等を受けている。大学との連携によって、大学の研究内容や学部の情報を知ることができ、体育科生徒の体育に対する探究意識が高まっている。生徒自身の変化・伸び等をフィードバックでき、事後の学習や部活動に生かしている。



## 期待される教育的効果

### 【生徒の視点】

- 学校内だけでは難しい専門的な学びによる視野や知見の広がり
- 進路を考えるきっかけと学習意欲の向上
- 地域社会への貢献を見据えたキャリア選択
- 地域社会への当事者意識や起業家マインドの醸成 など

### 【地域の視点】

- 高校教育への興味関心の醸成
- 地域の未来を見据えた人づくりへの意識醸成 など

## 現状と課題

- これまでの取組を継続・充実
- 新たな取組の開発



- 新しい視点による学びの創出は難しい。
- 教職員の多忙化もあり、取組の精査・集約も必要なところがある。

- ・高校と関係機関とをつなぐコーディネート機能を担う人材
- ・多彩なキャリアを持つ教職員
- ・コンソーシアム（高等学校と関係機関等との連携協力体制）の整備

- 連携先や教育活動等の一層の充実
- それぞれのキャリアや強みを生かした特色ある教育活動の促進
- 教職員の負担軽減 など